

クラウド実践テーマ：顧客満足度の向上、従業員満足度の向上、業務効率の改善

業種：製造業（金属屋根鋼板の接合金具メーカー）

企業名：株式会社サカタ製作所（新潟県長岡市）

【従業員数：160名】

クラウド実践により見積・設計作業の効率化、熟練者ノウハウの形式知化で開発期間短縮

## 1 経営課題

・顧客満足度を高めるためには、製品品質はもとより、製品開発の納期厳守が重要な課題であると認識し、顧客への見積提案・詳細設計の効率化、若手設計者への技術伝承や教育によって、製品開発のリードタイムの短縮を目標とした。

## 2 クラウド実践による課題解決

・見積提案では、顧客要望の聞き取りから概要設計・見積を顧客に提示する際、現場に参加できない社員（設計担当）は、ビデオ会議機能で対応した。  
・詳細設計では、詳細図面作成から金型設計、試作から量産許可までを作業日報アプリで工程管理し、作業が見える化することで不要な作業を削減した。  
・熟練技術者のノウハウを形式知化し、クラウド上でタグ付けしたことで、設計時の注意事項や確認事項のチェックリスト化と設計手順の標準化し、設計標準書を作成した。

## 3 導入したクラウドサービス（導入期間：3年）

・マイクロソフト社 Office365 E3 プラン（Skype（Teams）、PowerApps、Yammer）

## 4 課題解決に向けた組織運営

・「残業をゼロにし、時間当たりの生産性を上げる」方針に基づき、外部コンサルタントを活用し、残業時間削減と製品開発リードタイムの短縮するための2年計画を立案した。  
・2年計画を進めるツールとしてクラウドサービスを活用するため、IT部門が作業日報アプリの作成、作業時間分析シートの作成、ノウハウの収集のしくみ構築を担当した。さらに運用ルールやマニュアルを作成し、設計部門への利用者教育を実施した。

## 5 実践事例の成果

・2年計画の結果、製品開発リードタイムは目標の30%短縮を上回り44%短縮した。  
・情報共有の範囲が広がり、改善効果が高まった。これまで、設計部門内のチーム単位内では情報共有しなかったものが、クラウドを使って設計部門全体に広がり、他のチームから助言のコメントが投稿されるなど、より多数の知見が生かされるようになった。  
・作業日報アプリにより作業時間の分析だけでなく、原価計算にも活用でき、製品開発案件単位での損益の見える化にもつながった。